

議会だより から

2025.10.31
No.105

福岡県香春町議会



心も町も花いっぱい ありがとう

JR九州から「香春町商工会女性部」と「JR採銅所駅
周辺的美観を守る会」に感謝状が贈呈されました。
町の玄関口である駅の環境美化に努めていただき、
ありがとうございます。

主な内容

9月定例会

- 第13回議員と語ろう会…………… ②
- 令和6年度決算…………… ④
- 一般質問 8人が町政を問う…… ⑩
- 議会活動…………… ⑱

7月13日（日）に実施

- ▶16名の方に参加いただき、4つのテーマに分かれて意見交換を行いました。前回の4つのテーマから3つのテーマを変更して、約80分間の意見交換を行うことができました。
- ▶今回の意見は、議会活性化検討委員会及び全員協議会で、町への要望内容を協議し、9月19日に要望書を提出しています。要望内容は次号で掲載します。

テーマ 地域環境とコミュニティ



分別方法が変わり違反ごみが増えた。特にペットボトルの出し方は、定期的に周知が必要では。

公民館の活動が減った。地域の人が集まれるように、地域の人々がやりたいことをサポートする仕組みができないか。

テーマ 食と農の振興

農業従事者が減っているため、大規模な基盤整備が必要ではないか。

鳥獣被害対策を町としてどう取り組んでいくのか。他市町村ではビニールハウスで安定した収穫を行っているところもある。



- ▶産業がないため、町内に職がない。香春岳の石灰石を生かす「**産民学共同研究**」などできないか。（60代）
- ▶人を増やすのが先か、施設など整備することで人がよべるのか。**一番の課題は人口の増加**だと思います。（50代）
- ▶**国道交差点の活性化**。（60代）

その他たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。



第13回 議員と語るろう会

テーマ 高齢者支援

町外の病院やスーパーに行きたいので、かわらくバスの町外運行をしてほしい。

老人会がない区が半数ある。町から立ち上げの支援をしてほしい。



テーマ 子育て支援とスポーツ振興

採銅所保育所を改修してほしい。役場より子どもたちの施設を塗り替えるほうが先ではないか。

給食の無償化は、物価高騰の影響でよい食事を提供できなくなるのではないかと心配。



アンケート結果

香春町に期待することは

- ▶ せっかいい地域なので**子どもファースト**にしてほしい。子どもを大事にしないと未来はない。(40代)
- ▶ **かわらくバス**の件、希望がかなえられる事を**期待**しています。(70代)
- ▶ これから町を支えていく若い人たちを含め多くの人に本会議を聴いてもらうために、**SNS配信**をしてください。(50代)

づくりに

審議結果をCHECK



議会情報はこちらから

令和6年度一般会計決算の概要

決算総額は歳入79億33万円、歳出74億4,489万円。

主な決算を、第5次香春町総合計画の3つの基本目標「暮らしを守る」「人を育む」「社会をつくる」に区分し紹介します。

9月定例

令和7年9月議会は、9月9日（火）から19日（金）までの11日間開催。議案23件と請願1件は、すべて原案のとおり可決しました。

食欲増進と家庭の負担軽減に

120万円

令和6年7月から町内保育所に通う3歳以上の幼児に対する主食の助成も実施。これにより、ごはんの持参はなくなりました。



あたたかい ごはんで給食



おしまのりこ
沖島 法子さん

お米の持参がなくなり大変助かっています。物価高騰のため、家庭の負担を減らすために続けてほしいです。



たばたみさ
田端 美沙さん

お米の持参がなくなり助かっています。この先も続けていただくと助かります。

令和8年4月 まもなくオープン

8,942万円

旧香春小学校の校舎1階に整備する子育て支援施設「かばる」や道路等の周辺整備の設計業務を実施。現在、令和8年4月のオープンに向けて、「かばる」の工事を順調に実施中。



子育て支援施設「かばる」の完成イメージ



はらだゆみ
原田 由美さん

子どもたちが安心して遊べる場所ができると、親も安心して楽しむことができます。イベントなどの開催を期待しています。

持続可能なまち

高齢者の活動を促進

874万円

長寿のお祝いとして、77歳に1万円、88歳に2万円、100歳に5万円の敬老福祉祝金を支給。また、敬老行事を開催する行政区等に対し、行事に参加した70歳以上の高齢者一人当たり1,500円の補助金を支給。



みき せいち
三木 誠一さん

敬老行事の補助金は、物価高騰のため2,000円に上げてほしい。

詳しくは、保険健康課
(☎32-8401)



持続可能な活動を

118万円

香春思永館の部活動に対し、部員一人当たり2,500円の補助金や指導員謝金に活用。また、部活動の地域移行検討委員会を開催し、地域との連携・協働による活動環境の整備を協議中。



むらかみ ここね
村上 心音さん

うまくなるために指導者が来てほしいと思います。

スポーツの振興に

315万円

町民の心身の健康増進を図るため、町や総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブかわら」などがスポーツ教室や大会を開催。また、スポーツの振興を図るため、スポーツクラブかわらの運営費を助成。

総合型地域スポーツクラブとは

身近な地域で子どもから高齢者まで、誰もが様々なスポーツや文化活動を楽しめるよう、住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことです。

地域交流の活性化に

34万円

令和6年度から新たに実施したスポーツフェスタ事業。ニュースポーツの囲碁ボールとレクボッチャを行い、老若男女問わず地域交流。



ながた ただのり
永田 忠則さん

子どもから高齢者まで参加できる競技でいいと思います。



としくに けんじ
歳國 謙治さん

始まったばかりの試みだが、今後も継続を期待している。

空き家の解体促進に

60万円

空き家解体補助金交付要綱により、解体・撤去等に要する経費の2分の1または30万円のいずれか低い額を補助。



詳しくは、総務課
(☎32-2511)



AIオンデマンドバス

3,166万円

令和6年度から運行を開始したAIオンデマンドバスの運行経費の負担金。

Q負担している経費の内容は。

A運行経費のほかに、AIシステムのライセンス料、運行やコールセンターで使用するパソコンとタブレットのレンタル料などである。



詳しくは、まちづくり課
(☎32-8408)



防犯灯設置事業

100万円

区や組からの要望に対し、防犯街灯の新設や修繕を実施。



継続協議中

「防犯灯の電気代負担の軽減」に関する要望決議を令和6年9月定例会で可決。行政区加入者と未加入者との不公平感による行政区の脱退を防ぐため、地元負担の電気代に対し2分の1を補助するよう議会から要望中。

自主返納を支援

44万円

事故のない町づくりを目的に、70歳以上の運転免許自主返納者に対し、かわらくバス回数券5,000円相当とnimocaカード5,000円相当またはタクシー利用補助券5,000円分の合計10,000円相当を交付。



詳しくは、総務課
(☎32-2511)



安全な町営住宅を提供

3億1,008万円

公営住宅等長寿命化計画に基づき、上清団地改良住宅新築工事や屋上防水工事などを行った豊産団地改修工事等を実施。



上清団地

力を合わせて きれいな町に

3万円

町内の環境美化や町民の意識向上を目的に、年1回町民と行政と一緒に清掃活動を行うクリーン作戦を実施。



はらだ しゅうじ
原田 修治さん

回数を増やしてはどうか。

水道会計決算

老朽管の更新に

1億1,975万円

水道の安定供給を図るため、公営企業会計の経営状況を踏まえつつ、町内の老朽管を更新する工事を実施。



ながたまり こ
永田万里子さん

今後の対策費用が必要になると思うので、料金が増えることはやむを得ないと思うが、現状維持でお願いしたい。



公営企業会計とは

事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計です。

国土調査を推進

2,186万円

中津原区の一部、宮尾1区、宮尾3区の一部を調査し、0.14㎡実施。令和6年度末の進捗率は83.49%。



コミュニティ協議会活動支援事業

373万円

地域課題解決のために地域自ら主体となって活動する、採銅所地域コミュニティ協議会の活動を補助。また、採銅所コミュニティ協議会は、国の補助金を活用し、農用地保全等に取り組むため、講演会などを実施。



旧勾金小学校

学校跡地の利活用に

2,601万円

利活用が進められている旧学校施設の維持管理等の経費。学校跡地利活用計画に基づき、旧勾金小学校と旧香春中学校の活用を進めていく。



旧勾金小学校



旧香春中学校

創業支援に

356万円

新規創業者の増加を図るため、香春町商工会と協力し、創業セミナーを実施。また、創業セミナーを受講し、町内で開業する創業者や事業継承者に対し、補助金を交付。
町内の法人や個人は上限100万円
町外の個人は上限30万円



詳しくは、産業振興課 ▶
(☎32-8406)



鳥獣被害の対策に

859万円

サル、イノシシ等による農作物への被害防止のため、電気柵の設置や駆除員による捕獲等を実施。

たまま かずお
玉真 一生さん

早く対策を強化してほしい。

9月補正予算

タクシー利用助成金

521万円

自動車の運転免許を持っていない70歳以上の町民を対象に、5,000円分のタクシー利用助成券を交付。利用できるタクシー会社は、田川構内自動車のみ。

Q 継続的に実施する予定なのか。

A 物価高騰対応の交付金を財源に事業を実施するため、今回限りの実施である。

詳しくは、まちづくり課
(☎32-8408)



健やかな成長を願って

172万円

東洋ライス株式会社との包括連携協定に基づき、母子手帳の申請時から1歳の誕生日の翌月まで、香春産米を活用した金芽米5kgを毎月お届けする。令和8年1月から事業を開始する予定。

Q 対象者の見込み人数は。

A 1歳までの子どもで、70人を見込んでいる。



東洋ライス株式会社を表敬訪問

災害復旧事業に

令和7年8月9日から11日にかけての集中豪雨によって被害が発生したため、応急対策や復旧に必要な経費を計上。なお、応急対策に必要な経費は専決処分しています。

540万円

専決処分

道路2箇所、河川1箇所、林道1箇所、農業用水路2箇所など

1,718万円

道路5箇所、河川3箇所、林道2箇所、農業用水路1箇所など



専決処分とは

緊急を要し、時間的に議会の招集を待てない場合、町長が議会に代わって決定すること。議会への報告と、議会の承認が必要。

専決処分

物価高騰給付金の不足額を給付

3,491万円

令和6年度の国の施策で実施された定額減税による調整給付額が足りなかった人を対象に追加給付を実施。対象者には町から書類を郵送し、10月末で申請受付を終了。

詳しくは、福祉課 (☎32-8415)

人権擁護委員を推薦

再 おおば まこと
大場 信氏 (中津原区)

令和7年12月31日で任期満了となるため、再度、国(法務局)へ推薦
任期は3年間

【全員賛成で適任と認める】

政治に関心を持ってもらう方策は

町長

将来ビジョンを示し参画を促す



ふじい きよたか
藤井 清孝 議員

問 20代の投票率が少ないが原因は。

答 江藤総務課長
政治や行政に対しての関心度だと思ふ。

者はホームページを見る率が少ないと思うが。

答 江藤総務課長
高齢者が、ホームページをあまり見ないのは認識している。関心を持っていただくための具体策を考えたい。

問 投票率向上のため、期日前投票や不在者投票の仕組みを啓発周知しているのか。

答 江藤総務課長
不在者投票の事前登録者には事前に周知できる範囲でしている。

問 当町は高齢化率が高く、移動手段が一番の問題である。公共交通がない、かわらくバスの予約が難しいという声も聞く。土日運行はできないか。

答 江藤総務課長
今後の検討課題である。

問 町の選挙は告示から開票がある投票日まで5日間しかないが、不在者投票の続きは間に合うのか。

答 江藤総務課長
間に合うと認識している。不在者登録の手続きはホームページに掲載している。

問 他の自治体では、タクシー券を配布して投票所に行けるようしているが、当町は何か検討しているか。

答 江藤総務課長
投票所の再編も含め、移動手段を考えていく。

問 選挙に対する関心が薄れている現実で、特に高齢

問 当町では、3月に町議会選挙、8月には町長選挙が行われた。4年前と今回の投票率は。

答 江藤総務課長
3月23日執行の町議会議員選挙が63・77%で、前回は68・84%。8月3日執行の町長選挙が47・49%で、前回は55・38%。

問 町長選挙の投票所別と年代別の投票率は。

答 江藤総務課長
投票率は第4投票所が一番高い。年代は70代が高い。

〔香春町長選挙 令和7年8月3日執行〕

年代	投票率	投票所	投票率	対象地区
10代	17.27%	第1投票所	47.67%	高野・鏡山地区
20代	18.86%	第2投票所	40.56%	中津原（一部）・柿下地区
30代	25.87%	第3投票所	50.30%	香春地区
40代	38.66%	第4投票所	55.55%	採銅所地区
50代	45.56%	第5投票所	45.15%	中津原地区
60代	58.84%	町全体	47.49%	—
70代	66.22%			
80代	51.05%			



未来を動かす一票を

問 町を存続させるためには、選挙に行つて自分たちの思いを候補者に託す考えが重要。特に、若い世代に関心をもってもらつたための方策は。

答 鶴我町長
町民の参画が必要不可欠であり、そのためには未来に向けた町のビジョンを示すことが、私たちの使命と思ふ。

不登校児童生徒への対応は

学校教育課長

チームで連携し、適切な支援を行う



しもむら かずこ 議員

問 香春思永館の不登校児童生徒数の推移は。

答 加々見学校教育課長

開校前の令和2年度が6%、令和6年度が8・6%のように、高くなっている。

問 不登校は児童生徒の責任ではない。児童生徒への支援内容は。

答 加々見学校教育課長

担任だけでなく、学年主任、生徒指導、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが連携し、その子に合った対応を協議し実践している。

問 子どもたちが無料で安心して過ごせる場所を地域のなかにつくっては。

答 岩奥教育課長

子どもにあったフリースクールや県立大学の専門教室を紹介している。地域活動で居場所づくりをしている事例を勉強していく。

就学援助は

問 当町の入学準備金は。

答 加々見学校教育課長

1年生は2万3千270円、

7年生は2万6千350円。

問 全国平均は、小学校が5万7千60円、中学生が6万3千円である。全国平均まで引き上げできないか。

答 加々見学校教育課長

当町は独自に新1年生に体操服もしくは1万円を支給、新7年生に制服もしくは5万円を支給している。

名簿提供は

問 自衛隊へ名簿提供をしているのか。

答 進税務住民課長

住民基本台帳法に基づいて名簿を提出している。

問 自衛隊からの要請は義務ではなく、強制でもない

ことは防衛大臣が国会で答弁している。総務省は住民基本

高齢者支援は

問 75歳以上の高齢者支援として、他市町村で実施しているタクシー券の事業を当町でもできないか。

答 国安まちづくり課長

引き続き公共交通会議で協議していく。



クーリングシエルターは

問 地区公民館で運動教室など活動している時間帯の電気代を町が負担し、地区公民館をクーリングシエルターとして利用できるようにしては。また、ウォーターサーバーを設置しては。

答 進税務住民課長

特別警戒アラートが発表されたときは施設を開放する必要があるなど、クーリングシエルターの指定基準から地区公民館を指定するのは厳しい。また、ウォーターサーバーの設置は、衛生面や管理面から厳しい。



全世代の幸福度向上の取組とは

町長

年代に応じた幸福度を推進



まつお 大坪 議員

職員の福利厚生は

育見休暇の取得状況は。

江藤総務課長

昨年男性が43%、女性が100%取得した。今年度は男女共100%取得する予定。

職員の休憩場所と喫煙場の現状は。

国安まちづくり課長

1階裏側に休憩室があり、令和5年度にバリアフリー化など改修している。喫煙場所は、1階裏口付近と屋上の2箇所設置。健康の影響が大きい子どもに配慮して必要な措置をしている。

オルレ事業の取組状況は。

岩丸産業振興課長

オルレイベントの参加人数は年々減少している。オルレの会との連携ができていない状況もあり、今後、指導を含めて取り組んでいく。

高齢者フレイル予防

フレイル予防対策とは。

佐野保険健康課長

公民館活動での運動教室の支援や介護予防教室など、健康増進と介護予防を一体的に進めている。

高齢者の安否確認のため、食料宅配業者との業務提携を考えては。

佐野保険健康課長

現在1社と見守り協定を結んでいる。民生委員や地域包括支援センターとの連携を含めて、取り組んでいく。

未来の町にむけて温水プールと宿泊施設を計画しているが、総合的に考えては。

鶴我町長

クリアすべき課題が山積しているが、総合的に考えては。

女性の登用状況は。また、男女関係なく、能力のある方が能力を発揮できる職務に就けるべきでは。

江藤総務課長

現在、管理職12名のうち1名が女性である。男女隔てなく登用すべきで、男性視点だけでなく、女性視点も必要と考える。

町の玄関口である1階トイレをさらに明るく清潔な場所にできないか。

香春駅から場所を変える提案も理解している。今後検討していく。また、週末に

観光協会は

窓口が閉鎖的に感じるが、事務所は香春駅のままではよい。また、休日対応する考えは。

岩丸産業振興課長

香春駅から場所を変える提案も理解している。今後検討していく。また、週末に



秋まつりで交流

南大東島との交流で、互いに物販をしてはどうか。

岩丸産業振興課長

遠方のため課題はあるが、道の駅と協議している。

フレイルとは健康な状態と要介護状態の中間の段階のこと。

企業誘致と官民連携の展望は

まちづくり課長 廃校活用と包括連携協定を進める



やました たけし 議員
山下 剛

問 旧香春中学校の活用状況と包括連携協定の状況は。

答 国安まちづくり課長

旧香春中学校は、除却後に企業誘致への活用を予定。包括連携協定は、まちづくり課だけで7社と締結し、デジタルデバインド解消事業などを進めている。

問 他の課でも包括連携協定を結んでいるか。

答 岩丸産業振興課長

東洋ライス株式会社と締結し、香春産米の付加価値向上を目指していく。

答 佐野保険健康課長

株式会社大塚製薬工場や株式会社アステムと締結し、健康づくり事業などを推進。

答 江藤総務課長

株式会社ゼンリンと締結し、災害時の地図を提供。

問 交通の要所である当町にトラックステーションを誘致したいが。

誘致したいが。

答 佐野保険健康課長
田川市郡全体で医療体制の協議を進めている。

問 他の医療圏との連携は。

答 佐野保険健康課長
医療政策は主に県が担っており、町単独では困難。

問 将来的な町内の医院の統合や廃業に備え、どのような準備や連携体制を構築するのか。

答 佐野保険健康課長

町の医療の未来は



答 国安まちづくり課長
土地の確保が難しく、慎重な検討が必要。

問 町内の病院の負担軽減を図るための支援は。

答 佐野保険健康課長

地域医療が継続できるように検討。

問 オンライン診療を導入・推進する考えは。

答 佐野保険健康課長

オンライン診療は、個々の医療機関の経営判断によるところが大きい。

問 孤独死防止にもつながる訪問診療や訪問看護に取り組む考えは。

答 佐野保険健康課長

取り組む必要がある。

問 当町の医療問題は喫緊の課題だが。

答 鶴我町長

関係医療機関と連携し検討する。

消防団の 救護班設立は

問 消防団の分団数と人数、自主防災組織の状況は。

答 江藤総務課長

消防団は200人に対し、176人。分団は8分団。自主防災組織は34団体で29の行政区に設置。研修や避難訓練を進めていく。

問 女性団員が安心して活動できるように、各分団格納庫の環境整備は。

答 江藤総務課長

環境整備は追いついていない。本部での対応を検討。

問 女性や医療従事者、セカンドキャリアを中心とした救護班の設立は。

答 鶴我町長

提案をいただいたので議論を深めていく。



旧香春中 企業誘致に

土日運行を希望する方が多いが

まちづくり課長
公共交通会議で協議している



やまおか とおる 議員
山岡 徹

問 狭い道や中山間地の運行をするため、車両を小型化する時期は。

答 国安まちづくり課長
走行距離や耐用年数の3年を目途に検討していく。

問 医療や買い物に特化した専用車両が町外運行できるように、公共交通協議会で協議できるか。

答 国安まちづくり課長
段階的に話し合っていく。また、費用面や待ち時間も含め検討していく。

子育て支援は

問 給食の質と量を守るため、食材の物価高騰の対応は。

答 加々見学校教育課長
栄養教諭が考えた献立を維持できるように、予算確保をしていく。

問 包括連携協定を結んでいる東洋ライス株式会社は、金芽米を給食で提供しては。

答 加々見学校教育課長
よい給食が大切。今後協議していく。

答 岩奥教育長
献立委員会と検討していく。



出典：東洋ライス株式会社ホームページ

問 前回の質問で、町民プールの継続が難しいと回答されたが、今後の活用は。

答 池本生涯学習課長
決まっていないが、消防水利として活用する方法もある。

問 プール授業の今後は。

答 加々見学校教育課長
田川市郡のプール施設管理者と協議し継続していく。

有害鳥獣対策は

問 470頭が駆除目標だが、現在の状況は。

答 岩丸産業振興課長
8月末で、猿、イノシシ、鹿など捕獲は95頭。

問 他の市町村と協力し、広域での駆除対策は。

答 岩丸産業振興課長
広域の取り組みが一番いいが、まだ取り組めていない。

答 鶴我町長
町村会を通じて県に予算措置等を要望している。

問 駆除報酬単価を増額し、猟友会の活性化を。

答 岩丸産業振興課長
国の補助金額から上乗せし、令和7年からイノシシ、鹿は9千円、幼獣は3千円と駆除報酬を引き上げている。

ふるさと納税は

問 現在の状況は。

答 国安まちづくり課長
8月末で2億2千444万円。件数は8千631件。

問 3億円は達成できそうだが、PRの状況は。

答 国安まちづくり課長
納税サイトは1サイト増えて、合計14サイト。PR活動や広告もやっていく。10月には3億円になる見込み。



香春れんげ米

災害時、避難所の電源確保は

総務課長

非常に重要な課題だと捉えている



ながまつ しんいち 議員 永松 伸一

公式LINEの活用を

問 かわらくバスを予約する画面表示を分かりやすくできないか。

答 国安まちづくり課長

改良ができるよう、準備を進めている。



利便性の高いサービス

リチウムイオン電池の回収は

問 リチウムイオン電池の回収体制は。

答 進税務住民課長

処理できないゴミとして取り扱っており、さくら環境センターへ持込みもできない。今年5月より役場の生活環境係の前に回収ボックスを設置し、回収の対応をしている。



役場内回収ボックス

め、通報者と自治体の負担軽減も図れる同システムのLINEを使っていきたい。

答 国安まちづくり課長

他の自治体で既に運用しているの、検証していきたい。

などは、広報や町のホームページで周知している。LINEやごみカレンダーの掲載は、検討している。

その他、鳥獣被害について質問した。

問 当町が保有する自家発電機は。

答 江藤総務課長

ハイブリッド式発電機が1台とポータブル蓄電機が6台。照明やスマートフォン充電

問 避難所の非常用電源の確保は。

答 江藤総務課長

コミュニティセンター採光所、フレッシュワークかわらに太陽光パネルを設置。香春思永館は、太陽光パネルを設置中。災害時、暑い時期や寒い時期の対応は、まだ貧弱な状況。

等が行える容量で、大きな発電量はない状況。

問 非常用電源として車のEVやPHVを活用できるが、自動車メーカーと協定を結ぶ考えは。

答 江藤総務課長

他の自治体では自動車メーカーと協定を結び、非常時に電気自動車を活用できるようにしていると聞く。蓄電池の導入などを含めて、検討していきたい。

問 町民が道路や公園などの不具合を、通報できるシステムを導入する考えは。

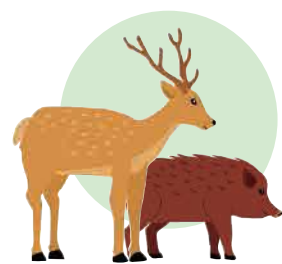
答 新谷建設課長

国土交通省の道路緊急ダイヤルである#9910は、LINE版もある。道路交通情報センターのシステム等の連携も可能であり、災害時の応用も検討されている。そのた

問 町民、特に高齢者や外国人への周知方法は。

答 進税務住民課長

回収ボックスの設置の情報



アイク生原氏の功績を歴史資料館へ

生涯学習課長
紹介コーナーの新設を検討したい



村上 村上 議員

問 「郷土史誌かわら」が発刊100号を迎える。その特集記事として大谷翔平選手が活躍するLAドジャースと日本の野球界を結びつけた香春町出身の故アイク生原（生原昭宏）氏の足跡を振り返る記事をアイク氏のご兄弟である伸久氏に執筆頂く。それに合わせてアイク氏の遺品や記録を展示するコーナーを町民センターの歴史資料館に開設できないか。

答 池本生涯学習課

ご遺族より遺品の貸し出しが叶うなら、コーナーを開設し展示したい。

問 教育委員会が把握している町内の史跡・旧跡は何カ所か。案内看板の数は。

答 池本生涯学習課

町が把握している史跡は約140カ所ある。案内と解説の看板は約60カ所ある。

問 幕末の香春町魚町で起きた惨劇「鍋屋騒動」供養塔も史跡の対象となり、看板が設置されているが、歴史研究家よりその記述に誤記があると指摘されているが。



LAドジャーススタジアムオーナー室のオマリー会長と生原氏（提供：生原伸久氏）

答 池本生涯学習課長

歴史資料の検証作業を進めている。看板自体も劣化しており併せて対応を検討したい。



鍋屋騒動供養塔（香春町魚町）

率72%である。来年度は36名、在園率60%と見込んでいる。

問 採銅所保育所は築52年になる。建物の耐震性を高めるために建築基準法の改定が行われたが、耐震性は。

答 森江福祉課長

図面上の調査（一次診断）であれば実施を検討したい。

問 採銅所保育所は、地域コミュニティ活性化と合わせどのように運営していくか。

答 鶴我町長

香春保育所と民営の勾金保育所の統合を進めており、現時点で明確な答えはない。

採銅所保育所はどうなるのか

問 来年度より公立保育所は採銅所だけとなるが、現在の在園率は。

答 森江福祉課長

定員60名に対し43名、在園

その他、令和7年度学力・学習状況調査（学力テスト）について質問した。

地域コミュニティ協議会の進捗は



みむら しんや 三村 信也 議員

まちづくり課長
勾金で設立、中津原でも設立予定

問 各地域の協議会の現状と今後の見込みは。

答 国安まちづくり課長

採銅所地域コミュニティ協議会は、国の交付金を活用し活動が定着。

勾金地域コミュニティ協議会は、設立総会を実施し活動を開始。来年度から勾金保育所施設を拠点に活動していく。中津原地域運営組織設立準備会は、年度内に協議会設立を目指している。

問 旧香春小校区の状況は。

答 国安まちづくり課長

他地域同様ワークシヨップを実施したが、まだ立ち上げには至っていない。今後、地域の気運が高まれば、蓄積した経験や横の繋がりを活かして伴走支援していく。

香春思永館の環境は

問 熱中症対策としてボトル補充型ウォータークーラーを設置する考えは。

答 熱中症対策としてボトル補充型ウォータークーラーを設置する考えは。

答 加々見学校教育課長
衛生面に課題があり即時は難しいが、必要性を学校に確認し検証する。



西山工業の冷水器
(自動洗浄機能付き)

問 学力テストの結果と、統合後の現状と今後は。

答 加々見学校教育課長

上昇傾向にあり県平均まであと一步。特に、5つの特色ある教育方針(英語・ふるさと学習等)に力を入れていく。

問 教員の不足は。

答 加々見学校教育課長

県費教職員70名、町雇用25名で現状不足はない。

危険な放置空き家への対策は

問 町内の空き家の現状は。

答 江藤総務課長

平成28年度調査275件、令和3年度338件で増加。

ランク	件数	空き家の不良度 (令和3年度)
A	126	問題なし
B	157	一部損傷 (小規模修繕が必要)
C	31	複数損傷 (中規模修繕が必要)
D	24	著しい損傷 (大規模修繕や除却が必要)

問 特定空き家(危険家屋)への対応は。

答 江藤総務課長

行政代執行が可能な特定空き家等判断基準により、平成28年に2件認定。その後の認定はない。

移住定住施策は

問 どのような人に来てほしいか。

答 鶴我町長

特定の人物像を限定せず、誰でも温かく受け入れる地域づくりが大切。移住者が地域に根付き、また次の人呼び込む循環へと繋げたい。

その他、女性消防団員、災害時の情報収集(町公式LINE活用)、学校給食、町営塾や部活での地域おこし協力隊の活用について質問した。

厚生建設産業常任委員会町内視察

集中豪雨の被害状況は

9月12日（金）に8月の集中豪雨で被害のあった農地法面の崩落現場と河川護岸の損壊現場を視察しました。被害の概要や今後の対応に関する説明を受け、防災力の強化が必要であることを再認識しました。



農地法面の崩落現場

総務文教常任委員会町内視察

移住相談や空き家の現状は

9月16日（火）に町から移住・空き家の相談業務を委託されている一般社団法人カワラカケルと意見交換を行い、相談業務の内容や実態を把握し、課題を共有しました。



採銅所駅第二待合室

請願書

請願第1号 香春町における学校教育条件整備に関する請願

(内容) 少人数学習によるきめ細かい指導など、学力向上対策の更なる充実を図るため、町費負担教職員の配置継続と増員を要望。また、児童生徒に正しい人権意識を身につけさせるとともに、学力・進路を保障していくため、国や県に対する教員の定数要望の支援を要望。

【全員賛成で採択】

意見書

発委第1号 教育条件整備に関する意見書の提出について

(趣旨説明) 香春思永館に通う一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育が行えるよう、教職員の配置など教育条件整備を進めることを求める意見書。

(提出先) 文部科学大臣、福岡県知事、福岡県教育委員会教育長

【全員賛成で可決】

発委第2号 教育条件整備に関する決議について

(趣旨説明) 香春町に対し、町費負担教職員の増員と国や県への定数要望への支援を求める決議。

(提出先) 香春町長

【全員賛成で可決】

議会活性化検討委員会

4年間の議会活動テーマが決定

テーマ ▶ 持続可能なまちづくり

テーマを実現するための5つの項目

- 1 スポーツ振興と健康の増進
- 2 防災減災の向上
- 3 農業の再生と食文化の振興
- 4 地域交通の充実
- 5 地域交流と環境保全

議員改選が行われ、新たな体制のもと、4年間の議会活動のテーマを議会活性化検討委員会と全員協議会で協議し、決定しました。このテーマを実現するために5つの具体的な項目を掲げ、関係団体との意見交換などを通じて、実現に向けた取り組みを進めていきます。



こまつ しんいち
議長 小松 新一

テーマの実現に向けて意見交換

10月6日（月）にスポーツクラブかわらと議会活性化検討委員会が意見交換しました。事業の運営状況や今後の課題などを意見交換しましたので、詳細は次号でお知らせします。



「スポーツ振興と健康の増進」に向けて

輝くまちへの全員協議会

つながる ひろがる ささえあう

日付	議題	内容
4月23日（水）	4年間の活動テーマ	活動テーマの協議
	令和7年度の研修計画	年間研修計画を確認
	第13回議員と語ろう会	日程確認や意見交換のテーマを協議
5月20日（火）	第13回議員と語ろう会	テーマの決定と役割分担
6月20日（金）	第13回議員と語ろう会	当日の配布資料や進行の確認
	議会の災害対応	災害対応要綱や行動マニュアルを確認
7月23日（水）	第13回議員と語ろう会	反省点や改善点の洗い出し アンケート結果の確認
	田川郡町村議会議長会への要望事項	有害鳥獣被害への支援拡大を要望することを確認
8月22日（金）	第13回議員と語ろう会	テーマ別の意見を確認
	議会の個人情報の保護に関する条例等の一部改正	条例と規程の改正内容を協議
9月19日（金）	第13回議員と語ろう会の意見を踏まえた町への要望書（案）	要望書（案）を確認

傍聴者の声

9月定例

本会議を傍聴していただきありがとうございます。
紙面の関係上、要旨のみの掲載となりますが、皆様からいただきました
意見や感想を紹介します。

議員と語ろう会を実施しており、現在はテーマ毎に集まり、意見を出し合っているが、一昨年のテーマにあった公共交通問題が何も進展していない。解決していないのに、今年のテーマになかった。一つのテーマは解決、少なくとも進展するまで取り上げてほしい。

▶ 毎回テーマを設定し、皆さまからいただいたご意見を整理したうえで、町への要望内容をまとめています。過去に取り上げたテーマで継続して議論していくことが必要と考えている内容は、進捗状況の確認や継続的な取り上げを行っております。

傍聴者のアンケート用紙に記入日の欄を設けては。

▶ 傍聴者アンケートは、議会運営の改善に向けた貴重なご意見をいただくために実施しております。ご指摘のとおり、記入日を設けることで、どの会議に対する意見かを明確にできますので、記入日欄の追加を検討してまいります。

地域コミュニティに対する国からの補助金申請など、細かい説明があり参考になりました。

▶ 町民の皆さんにとってわかりやすく、聞きやすい議会を目指してまいります。また、より政策議論を深めるため、論点を明確にした質問づくりに努めてまいります。

傍聴者アンケート

●年齢は？

10代	0人
20代	0人
30代	0人
40代	1人
50代	0人
60代	0人
70代	9人
80代以上	0人
合計	10人

●傍聴回数は？

初めて	1人
2～4回目	3人
5回目以上	6人

●傍聴理由は？（複数回答可）

町議会や町政に関心がある	9件
関心がある議案が提出されている	4件
議員の質問内容に関心がある	6件
議員の応援のため	2件
知人、友人等に誘われた	0件
その他	0件

皆様からいただきましたアンケートは、全員協議会で情報共有し、今後の改善の参考とさせていただきます。
引き続き傍聴に参加した皆様へアンケートを行いますので、ご協力をお願いします。

次は12月議会 皆様の傍聴をお待ちしています！
第4回定例議会 12月9日(火)～15日(月)開催予定